



Check Point
SOFTWARE TECHNOLOGIES LTD.

We Secure the Internet.



Data Sheet

Safe@Office 500 UTMアプライアンス

実績あるインターネット・セキュリティでネットワークを安全に



課題

現在の多くの企業環境では、顧客の信頼を獲得し、ビジネス活動を積極的に行うために、インターネットやブロードバンドを活用することが不可欠ですが、企業として真の成功を収めるためには、顧客データ、知的財産データ、会計情報等の機密性が必要とされるさまざまなデータを確実に保護するためのセキュリティを導入することが欠かせません。ウイルスやワーム、ハッカー、あるいはゼロデイ・アタックならぬゼロアワー・アタックなど、インターネット上に存在する多種多様な脅威から企業を守るためには、数多くのソリューションが必要となります。しかしながら、これらの脅威に対応するための総合的なセキュリティ対策を導入することは一般的に容易ではなく、また企業リソースのセキュリティと可用性を両立し、ネットワーク内部のリソースへの安全なアクセスを行うためには、多大な投資が必要となります。

そのため多くの企業は、コスト・パフォーマンス、信頼性、柔軟性、および管理性に優れた、オールインワン型のインターネット・セキュリティ/VPNソリューションを必要としています。

解決策

チェック・ポイントのSafe@Office™ 500 UTM (Unified Threat Management: 統合脅威管理) アプライアンスは、エンタープライズ環境で多数実績のあるインターネット・セキュリティ技術をベースに開発された、小規模環境向けの統合セキュリティ・アプライアンスです。Safe@Office 500は、外部からのハッキングやボットネット等の攻撃から、フィッシングやActiveXベースのスク립ト型ウイルスに至る、さまざまな脅威に対する強固な防御機能を提供します。このアプライアンスは、1台でさまざまな種類のインターネット上の脅威より、最大100ユーザ規模のネットワークに対する広範なセキュリティ保護を行なえます。またVPN機能を使用することで、社内ネットワークに安全なリモート・アクセスが可能となるため、ネットワークのセキュリティを低下させることなく、生産性の向上とビジネスの継続性の維持を図ることができます。

Safe@Office 500には、Fortune 500企業の97%に導入され、チェック・ポイントが特許を取得済みのセキュリティ技術であるステートフル・インスペクションが搭載されています。また導入に際しては、Safe@Office 500を箱から取り出し、ケーブルを接続し、ウィザードに従い設定するだけのわずかな時間で、必要なセキュリティを実施した上で安全な運用を開始することが可能です。

比類なき防御機能

Safe@Office 500では、高い実績を誇るチェック・ポイントのステートフル・インスペクションをベースにしたファイアウォール技術、高機能かつカスタマイズ可能なゲートウェイ・アンチウイルス、およびネットワーク構成の自由度を向上する無線LAN機能が統合されています。Safe@Office 500は、ネットワークを安全に守る上で必要になるさまざまなネットワーク防御機能が統合し提供されているため、さまざまな脅威へ対抗するために必要となる複数の異なるセキュリティ製品を個別に導入する必要はありません。



NGXプラットフォームは、チェック・ポイントの境界、内部、およびWebセキュリティに対する統合されたセキュリティ・アーキテクチャを提供します。

UTMアプライアンス

ネットワーク・セキュリティに必要な機能をすべて備えるオールインワン・ソリューション

ファイアウォールとIPS

市場をリードするステートフル・インスペクション技術をベースにしたファイアウォール機能および侵入防止技術を搭載 - Fortune 500企業の97%に導入されている実績ある技術を採用

ゲートウェイ・アンチウイルス

ウイルス、ワーム、およびフィッシングなど攻撃をネットワークの入り口でブロック

リモート・アクセスVPN

外出先からのリモート・アクセスVPNおよびサイト間VPNにより安全なネットワーク接続を実現

WEBフィルタリング

不適切なWEBコンテンツの利用を制限

WEBベースの管理

ウィザード形式で設定を行える管理インタフェースと事前定義されたセキュリティ・ルールにより、管理労力を大幅に削減し、本来の業務への注力を可能に

自動アップデート

ファームウェアおよびウイルス定義ファイルを定期的に自動で更新することにより、常に最新の脅威からネットワークを保護



Intelligent Security

またSafe@Office 500は、サービス妨害 (DoS) 攻撃のブロック、プロトコル異常の検出、悪意のあるアプリケーションによる悪意あるデータ送信の制限、およびアプリケーション層における通信のふるまい制御を可能にするApplication Intelligence (アプリケーション・インテリジェンス) 技術を搭載しています。これらのメカニズムにより、インスタント・メッセージやピア・ツー・ピア (P2P) によるファイル共有、FTPなどのインターネット技術を適切に利用できるようになると同時に、不審なトラフィックをブロックできるため、限りなく安全にネットワークを利用できるようになります。

いつでもどこからでもオフィス・ネットワークにアクセス可能

Safe@Office 500にはVPN機能が統合されているため、外出中の社員や支社・支店環境より、通信を暗号化し安全にネットワーク・リソースに接続することができます。Safe@Office 500は、許可されたユーザだけがネットワークにアクセスできるようにリモート・ユーザIDを認証し、データが盗聴・改ざんされることのないように通信を暗号化します。

外出中の社員や在宅勤務者は、ノートPCやPDAよりリモート・アクセスを行なう際に、チェック・ポイントのVPNクライアント・ソフトウェアであるVPN-1® SecuRemote™を使用することで、クライアントから接続先のゲートウェイまでの通信を暗号化し安全なリモート・アクセスを行なえます。また、オフィス間でVPNによる暗号化を行い安全なサイト間通信を行なったり、パートナーからブロードバンド経由でエクストラネットにVPNアクセスしたりといったことも可能になります。

ゲートウェイ・アンチウイルス

ネットワークの手前でウイルスをブロック

Safe@Office 500のステートフル・インスペクションのアンチウイルス機能は、ネットワーク内に侵入する前にウイルスをブロックすることで、パッチや定義ファイルが最新でないPCを含め、ネットワーク内のすべてのPCを保護します。ゲートウェイでのアンチウイルス機能を導入することにより、ウイルスのネットワーク侵入防御をSafe@Office単体で実施することが可能になります。検査の対象となる通信は、アンチウイルス・ポリシーの設定によって素早く簡単に定義できます。ゲートウェイ・アンチウイルスをクライアントPCのアンチウイルス・ソフトウェアと併用することは、ゼロアワー・ウイルス (定義ファイルまたはパッチが提供される前に爆発的に感染を広げるウイルス) 対策として有効であり、新種のウイルスに対する二重の防御策として有効です。

安全な無線LANとホットスポット

柔軟なネットワーク構成およびネットワーク・コストをいっそう削減するため、多くの小規模企業において無線LANが導入されている現在、無線LANによる簡単な接続性だけでなく、セキュリティを兼ね備えた無線LANを簡単に利用できるソリューションが必要です。Safe@Office 500Wは、優れたパフォーマンスと包括的なセキュリティを提供し、プラグ・アンド・プレイで導入可能なオールインワン型の無線LAN対応のセキュリティ・ソリューションです。Safe@Office 500Wは、802.11bおよび802.11gをサポートするほか、最大で108 Mbpsの無線通信速度を可能にするSuper-Gにも対応しています。さらに、ゲスト用ホットスポットの設定やポータル・サイトの作成、Webベース認証によるアクセス・コントロールも容易に行うことが可能です。

Safe@Office 500Wは、無線LANリピータを必要とすることなく、単体でオフィス全体をカバーします。通信品質を向上するためのデュアル・ダイバシティ・アンテナを搭載し、通信範囲を拡大する最新のeXtended-Range (XR) 技術をサポートしています。XR対応のクライアントと組み合わせることで、標準的なアクセス・ポイントの最大3倍の通信距離 (屋内で最長300m、屋外で最長1km) を実現します。

セキュリティに関しても、Safe@Officeには最高レベルの機能が用意さ

れています。Safe@Office 500Wで定義した無線LANのセグメントは有線ネットワークとセグメントが分割されており、無線ネットワークへのアクセスを制御することにより、ネットワーク内のセキュリティを保護します。また、さまざまな認証方式 (新規格であるWPA2を含む) を使用してリモート・ユーザのIDを認証し、許可されたユーザだけがネットワークにアクセスできるよう設定することも可能です。さらに、VPN (IPSec) 技術を使用して無線通信を暗号化し、データ伝送中の盗聴や改ざんの防止を強化することも可能です。

ネットワーク接続の冗長性

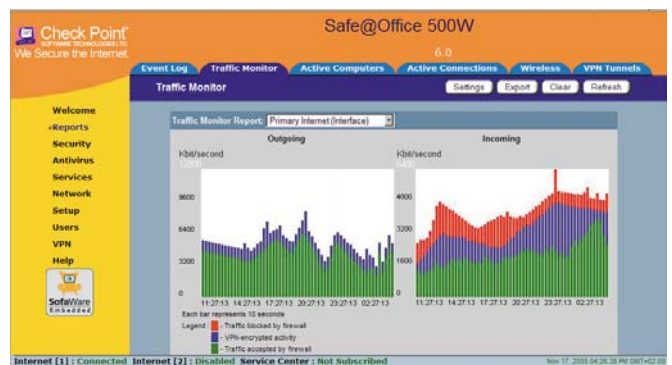
ネットワーク接続を常に維持

ビジネスを継続する上で、インターネットへの接続を常に接続状態に保つことが極めて重要ですが、一般的にネットワーク接続時の最大の弱点となりうるのは、インターネット・サービス・プロバイダ (ISP) への接続です。Safe@Office 500では、ISPに障害が発生した場合に備え、ISPへのバックアップ接続 (ブロードバンドまたはダイヤルアップ) がサポートされています。さらに、よりミッション・クリティカルな環境で利用する企業向けに、2つのゲートウェイ間でのハードウェアの二重化を実現する自動フェイルオーバー機能も利用可能です。

容易な設定と管理

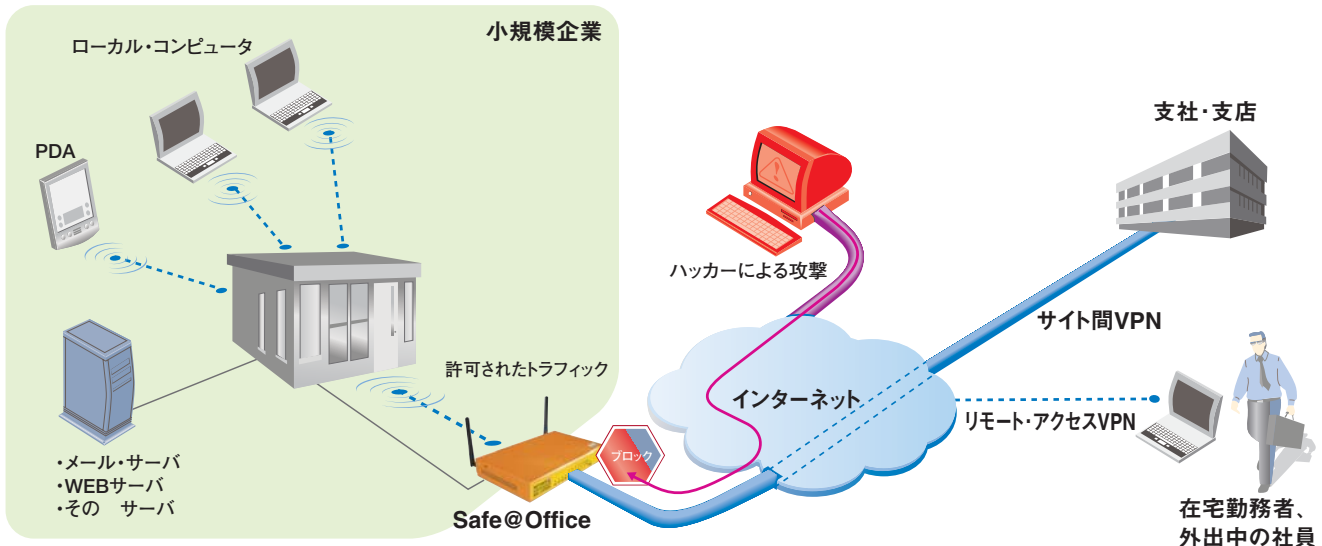
セキュリティ専任の管理者は不要

Safe@Office 500には、Webベースの管理ツールが用意されており、セキュリティの設定はわずか数分で終了します。設定は設定ウィザードを使用して、事前定義された3段階のファイアウォール・ポリシー (高、中、低) のいずれかを選択するか、または手動でセキュリティ・ポリシーを作成することができ、いずれの場合も、ウィザードの手順に従うだけで簡単にポリシーを定義/実施できます。セキュリティ・ポリシーは、利用環境固有のニーズに応じて柔軟に変更可能です。また各種のリモート管理オプションを使用して、いつでもどこからでも安全に設定変更を行なえます。



セキュリティおよびネットワークの効果的な監視と管理

Safe@Office 500では、ブロックされた攻撃や許可された通信などの結果を分かりやすく色分けされたログとして表示する機能があり、攻撃元のIPアドレスやポート番号、時間などを管理者が容易に把握することが可能です。また、ログに含まれているIPアドレスより管理者を素早く把握するための「WHOIS」ユーティリティは、インターネット上での「ナンバー・ディスプレイ機能」として利用できます。さらに、Safe@Officeにはトラフィック監視ツールとパケット・キャプチャ・ツールが用意されており、これらを使用して内向き/外向きのトラフィックを監視および制御することで、ブロードバンド接続の帯域を有効に活用することが可能になります。



Safe@Office 500/500Wは、インターネット上の脅威から無線および有線ネットワークを保護し、支社・支店や外出中の従業員からのセキュアなリモート・アクセスを可能にします



包括的なネットワークおよびトラフィック管理機能

Safe@Office 500は、セキュリティ機能だけでなく、本格的なネットワーク・ルータ機能も備えています。Safe@Office 500は、4ポートのLANスイッチ、DMZ用インタフェース、無線用インタフェースに加えて、オフィス・ネットワーク内にファイアウォールで分割された複数のネットワーク・ゾーンを作成可能なポート・ベースおよびタグ・ベースのVLAN機能に対応しています。ルーティング・オプションとしては、スタティック・ルーティング、ソース・ベース・ルーティング、またはOSPFによるダイナミック・ルーティングといったさまざまな環境に柔軟に対応できるルーティング機能をサポートしています。

またSafe@Office 500には、包括的な帯域管理 (QoS) システムであるトラフィック・シェーピング機能も用意されています。この機能を使用して、トラフィックのタイプ別に優先順位や制限、帯域保証を割り当てることにより、トラフィック・フローを完全に制御することができます。

オプションのセキュリティ・サービス

セキュリティ機能を継続的に自動アップデート

進化を続ける最新の脅威から確実にネットワークを保護するためには、ネットワークのセキュリティ・ソリューションを常に最新の状態に維持する必要があります。Safe@Officeのアップデート・サービスを購入すると、ユーザの介入を一切必要とせずにソフトウェア (ファームウェアやセキュリティ・ポリシー) を自動的にアップグレードし、継続的に運用することが可能になります。このサービスは、チェック・ポイントまたはチェック・ポイントの販売代理店を通じてご購入が可能です。

このサービスに加入すると、常に最新のハードウェア本体のファームウェアやウイルス定義ファイルに自動でバージョンアップするほか、トラフィック状況やファイアウォール、およびアンチウイルスの活動に関する詳細情報を提供する月次セキュリティ・レポートも入手できます。サービス・センターではこのほかにも、Webフィルタリング・サービスとダイナミックDNSサービスも追加オプションとして提供しています。Webフィルタリング・サービスでは、有害なインターネット・コンテンツへのアクセスを制限することによって、従業員の生産性を向上させると同時に、インターネット上の脅威によって不必要にネットワークのセキュリティが侵害されるリスクを低減できます。ダイナミックDNSサービスでは、動的なIPアドレスを利用する環境下でSafe@Officeを利用した場合でも、ダイナミックなDNSの更新機能を利用し、顧客やパートナー、社員が、電子メールやFTP、Webサイト、あるいはSafe@Officeゲートウェイ自体などの重要なネットワーク・リソースにアクセスできるようになります。

Safe@Officeで使用されている技術

Safe@Officeは、VPN-1 Embedded NGX™ (Application Intelligence™技術を含む) をベースにしています。VPN-1 Embedded NGXには、組み込みプラットフォーム向けに最適化された、市場をリードするチェック・ポイントのファイアウォールおよびVPNソフトウェアが搭載されています。VPN-1 Embedded NGXは、チェック・ポイントの関連会社であるSofaWare Technologiesによって開発されました。SofaWare Technologiesは、組み込みプラットフォーム向けのソフトウェアの設計、およびこの技術に基づく革新的なサービス・ソリューションの開発に携わっています。



Safe@Office 500 / 500W	
同時ユーザ数	5/25/無制限
ハードウェア機能	
ファイアウォールのスループット(Mbps)	100/150*
VPNのスループット(Mbps)	20/30*
同時ファイアウォール接続数	8,000
WANポート×1、LANスイッチ・ポート×4	✓
DMZ/WANポート×2(10/100Mbps)	✓
ダイヤルアップ・バックアップ(要外部モデム)	✓
コンソール・ポート(シリアル)	✓
ファイアウォール/セキュリティ機能	
特許取得済みステートフル・インスペクション・ファイアウォール	✓
ゲートウェイ・アンチウイルス	✓
Application Intelligence(IPS)	✓
レポートおよびログ機能	✓
セキュアなホットスポット機能	✓*
VPN	
リモート・アクセス・ユーザ数	5/25*
サイト間VPNのトンネル数	2/15*
サイト間VPNのトンネル数(SMP利用時)	10/100*
ネットワーク機能	
インターネット・アクセス・プロトコル	スタティックIP、DHCP、PPPoE、PPTP、Telstra
トラフィック・シェーピング(QoS)	ベーシック/アドバンス*
自動フェイルオーバー	✓*
VLAN(ポートVLAN / タグVLAN)	✓*
ダイナミック・ルーティング	✓*
管理	
HTTP / HTTPS / SSH / SNMP / SMP	✓
保証:ハードウェア保証1年間 (90日間のサポートおよびソフトウェア・アップデートを含む)	

*パワパック・アップグレード利用時に対応

パワパック・アップグレードに含まれる内容
・ファイアウォールおよびVPNのスループット向上
・セキュアなホット・スポット機能のサポート
・リモート・アクセス・ユーザ数およびサイト間VPNのトンネル数の追加
・アドバンスド・トラフィック・シェーピング(QoS)
・自動フェイルオーバーのサポート
・VLAN(ポートVLAN / タグVLAN)のサポート
・ダイナミック・ルーティング(OSPF)のサポート

Safe@Office 500Wのみ	
無線LAN機能	
無線LANプロトコル	IEEE 802.11b(11Mbps)、802.11g(54Mbps)、Super-G(108Mbps)**
無線LANセキュリティ	VPN over Wireless、WEP、WPA2、WPA-PSK、802.1x、802.11i
無線LANの通信距離	標準モード:屋内で最長100m、屋外で最長300m* XRモード:屋内で最長300m、屋外で最長1km*
ネットワーク機能	
プリント・サーバー	✓
ハードウェア機能	
ウォール・マウント・キット	✓

*実際の利用環境により異なります。

**Super-GおよびXRモードはこれらモードに対応した無線LANカード利用時のみ利用できます。

説明	SKU
Safe@Office 500 UTMアプライアンス -5ユーザ	CPSB-500-5-JPN
Safe@Office 500 UTMアプライアンス -25ユーザ	CPSB-500-25-JPN
Safe@Office 500 UTMアプライアンス -無制限ユーザ	CPSB-500-U-JPN
Safe@Office 500W Wireless UTMアプライアンス -5ユーザ	日本向け Safe@Office 500Wは、 近日発売予定 スケジュールに関する詳細はお問い合わせください
Safe@Office 500W Wireless UTMアプライアンス -25ユーザ	
Safe@Office 500W Wireless UTMアプライアンス -無制限ユーザ	
日本国外で利用する機器をお買い求めの際には、利用地域により品番が異なりますのでご注意ください。	

説明	SKU
サポートおよびサブスクリプション: Safe@Office -5ユーザ	ST-CPSB-5
サポートおよびサブスクリプション: Safe@Office -25ユーザ	ST-CPSB-25
サポートおよびサブスクリプション: Safe@Office -無制限ユーザ	ST-CPSB-U
AV、サポートおよびサブスクリプション: Safe@Office -5ユーザ	STAV-CPSB-5
AV、サポートおよびサブスクリプション: Safe@Office -25ユーザ	STAV-CPSB-25
AV、サポートおよびサブスクリプション: Safe@Office -無制限ユーザ	STAV-CPSB-U
Webフィルタリング・サービス: Safe@Office -5ユーザ	WF-CPSB-5
Webフィルタリング・サービス: Safe@Office -25ユーザ	WF-CPSB-25
Webフィルタリング・サービス: Safe@Office -無制限ユーザ	WF-CPSB-U
Safe@Office 500/500W、5ユーザから25ユーザへのアップグレード	CPSB-500-UPG-5TO25
Safe@Office 500/500W、25ユーザから無制限ユーザへのアップグレード	CPSB-500-UPG-25TOU
Safe@Office 500/500W、5ユーザから無制限ユーザへのアップグレード	CPSB-500-UPG-5TOU

©2003-2006 Check Point Software Technologies Ltd. All rights reserved.
 Check Point, Application Intelligence, Check Point Express, Check Pointのロゴ, AlertAdvisor, ClusterXL, Cooperative Enforcement, ConnectControl, Connectra, CoSa, Cooperative Security Alliance, Eventia, Eventia Analyzer, Eventia Reporter, FireWall-1, FireWall-1 GX, FireWall-1 SecureServer, FloodGate-1, Hacker ID, IMSecure, INSPECT, INSPECT XL, Integrity, InterSpect, IQ Engine, NGX, Open Security Extension, OPSEC, Policy Lifecycle Management, Provider-1, Safe@Home, Safe@Office, SecureClient, SecureKnowledge, SecurePlatform, SecuRemote, SecureXL Turbocard, SecureServer, SecureUpdate, SecureXL, SiteManager-1, SmartCenter, SmartCenter Pro, Smarter Security, SmartDashboard, SmartDefense, SmartLSM, SmartMap, SmartUpdate, SmartView, SmartView Monitor, SmartView Reporter, SmartView Status, SmartView Tracker, SofaWare, SSL Network Extender, Stateful Clustering, TrueVector, Turbocard, UAM, User-to-Address Mapping, UserAuthority, VPN-1, VPN-1 Accelerator Card, VPN-1 Edge, VPN-1 Pro, VPN-1 SecureClient, VPN-1 SecuRemote, VPN-1 SecureServer, VPN-1 VSX, VPN-1 XL, Web Intelligence, ZoneAlarm, ZoneAlarm Pro, Zone Labs, Zone Labsのロゴは、Check Point Software Technologies Ltd. あるいはその関連会社の商標、サービス・マーク又は登録商標です。その他の企業、製品名は各企業が所有する商標または登録商標です。本書に記載された製品は米国の特許No.5,606,668、5,835,726、6,496,935、6,873,988、および6,850,943により保護されています。その他の米国外の特許や他の国における特許で保護されているか、出願中の可能性があります。

P/N 502069-J 2006.1 ※記載された製品仕様は予告なく変更される場合があります。

 **Check Point**
SOFTWARE TECHNOLOGIES LTD.

We Secure the Internet.

チェック・ポイント・ソフトウェア・テクノロジーズ株式会社
 〒160-0022 東京都新宿区新宿5-5-3 建成新宿ビル6F
<http://www.checkpoint.co.jp/> E-mail: info_jp@checkpoint.com Tel: 03(5367)2500